

高信頼性ICタグ

マレーシア航空撃墜とID認識

全ての飛行物体は他国の領空を通過するとき、必ず許可申請と許可受理、ID認識の確認が必要と思います。この二つが満たされなければ、たとえば旅客機であろうと撃墜される可能性があります。

マレーシア航空の場合はこれから真相が解明されなければなりませんので推測で議論はできません。ただし、ケースに分けては議論はできます。まず、領空通過が許可され、ID認識されていて撃墜された場合はどんな場合であろうと犯罪であり、国際法から厳しく糾弾されます。

次に領空通過の許可がなくかつID認識されていない場合は、敵機とみなされてもまた撃墜されても仕方ありません。問題は通過の許可があってもID認識されていないとき、または通過許可がなくてもID認識されているときです。

このような場合は十分な警告を与えて、しかるべき飛行修正をさせるべきです。有無をいわず、撃墜は犯罪です。どんな場合でもID認識は大変重要な技術になります。